



大邱大学

Daegu University



●学部学生 18,799人 ●大学院生 1,793人 ●教員 650人

ホームページ <http://daegu.ac.kr>

交流協定締結年月日：2005年5月17日 主管学部：経済学部



国際交流の特色

大邱大学は、韓国第3の都市大邱市に1956年に韓国で初めての障害者教育の高等教育機関として創立され、現在、学部数13、大学院数7、そのほか17の付属機関や6つの付設研究所などを擁する韓国有数の規模を誇る総合大学である。このため、特に特殊教育・リハビリテーション・社会福祉・ライフサイエンスの分野では韓国でトップクラスにあるといわれている。電子工学や情報通信などの分野でも韓国優秀大学の一角に選ばれており、特に学部間学術交流協定を締結した経商学部は、近年優秀な人材を多数スカウトし、高度産業社会の要求に対応できる人材の育成に力を注いでいる。

交流実績（平成26年度～28年度）

年度	H26	H27	H28
受入・派遣			
学生受入	0	2	1
学生の派遣	0	0	3
研究者・職員の受入	0	0	0
研究者・職員の派遣	0	0	0

教員からの声

2005年5月国際学術交流協定の締結以来、大邱大学と本学経済学部の間では、教員レベルの学術研究交流や学生レベルの教育交流が進められてきています。

2005年に大邱大学経商学部の先生を招いて交流協定締結の記念講演会を開催したのははじめ、2006年には大邱大学の新任学長の李学長と国際交流センター長が本校を表敬訪問し、2007年には香川大学経済学部主催の国際シンポジウムに大邱大学の先生が参加し報告されました。また、学生のレベルにおいても、2007年4月から、毎年、大邱大学経商学部から数名の交換留学生を本学経済学部で受け入れています。今後も両大学の交流の機会を増やし、相互理解を深めて行く場として貢献できるよう前進してまいります。

経済学部教授 朴 鏡杓

学生からの声

私が香川大学の交換留学生に選抜された数日後、東日本大震災が起こりました。そのため周囲からの心配の声も多く、一緒に選抜された学生のなかには辞退した人もいました。私も不安や心配が全くなかったわけではありませんが、「今じゃないとこんなチャンスは二度とこない」と思い、日本への留学を決めました。予定通り2011年4月5日に高松空港に到着すると、香川は思ったよりはるかに穏やかでゆったりとした雰囲気でした。その時、私は「ここまで来たからには、できるだけたくさんを経験しよう」と心に決めました。そして、高松市主催の‘外国人の自慢’に参加したことをはじめ、アルバイトや旅行など色々なことを体験し、それらを通じて多くのことを感じ、多くのことを学びました。ここ日本での時間はあと2ヶ月くらいしか残っていませんが、短いといえは短く、長いといえは長い留学期間中に、より多くのことを経験できるよう最後まで頑張りたいと思います。

大邱大学交換留学生 金 世仁